



みやぎ高次脳機能障害友の会

だてすずめ 研修会



高次脳機能障害者支援法で 当事者・家族は何か変わるの？

講師

仙台リハビリテーション病院
リハビリテーション部部长 原田勝行氏
作業療法士 吉田和人氏
作業療法士 藤原明佳氏

2026年6月13日(土)
13:30~15:30

気仙沼中央公民館
スタジオ 2-1、2-2

宮城県気仙沼市内の脇1丁目16-16番6号

参加無料

【お問合せ・お申込み】みやぎ高次脳機能障害友の会だてすずめ

FAX 022-797-8802

メール info@donmainet.com

各地で交流会、意見交換会を開催しています！



みやぎ高次脳機能障害友の会 だてすすめ

これまで宮城県内には日本高次脳機能障害友の会に加入する当事者・家族会がなく、当事者・家族の声を直接全国に届けることができていない状況でした。

この状況を受け、宮城県内各圏域の当事者、家族が集結し、当事者を取り巻く環境がよりよくなる変化し、自分らしく生きがいの持てる社会づくりの一助になればと、令和7年4月1日、『みやぎ高次脳機能障害友の会・だてすすめ』を設立しました。宮城県内どこに住んでいてもピアサポートができるよう、当事者、家族だけでなく地域の支援者始め、様々な立場の方にも参加いただけるような相談会、意見交換会の場を作り、高次脳機能障害支援の一役を担う会として、息の長い活動をしていきます。

だてすすめでは随時会員を募集しています。

詳細はQRコードからご覧ください。



高次脳機能障害って？

高次脳機能障害は、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血などの脳卒中、交通事故や転倒、高所からの転落などの頭部外傷、感染症による脳炎、心肺停止などが原因の低酸素脳症などにより、脳がダメージを受けたことによる後遺症です。

救急医療の進歩により、一命を取り留め、重い意識障害の状態から回復しても、「覚えられない」「すぐ忘れる」「仕事の段取りができない」などの機能低下や、「飽きやすい」「怒りっぽい」「疲れやすい」など、性格の問題として片付けられてしまいそうな症状もあります。身体の麻痺がないことが多く、外見上はわかりにくいので、見えにくい障害と言われるます。何でもできそうで、実際にはできないという障害です。周囲の理解が得られず、本人も家族もそれゆえに苦しみ、たいへん生きづらくなってしまうのが現状です。

高次脳機能障害を持った本人、家族が地域の中で孤立せず、自立し、安心して暮らせるためには、行政や医療、福祉などの垣根を超えたネットワークが必要です。

研修へのお申し込み

当事者、関係者だけでなく、興味のある方はどなたでも参加いただけます。下記に記載の上 FAX か、メールにてお申し込みください。

| | | |
|-----|------|------|
| お名前 | ふりがな | ふりがな |
| | ふりがな | ふりがな |
| | ふりがな | ふりがな |

【お申込み先】 FAX 022-797-8802 メール info@donmainet.com